

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成24年2月16日 (2012.2.16)

【公表番号】特表2011-509072(P2011-509072A)

【公表日】平成23年3月24日 (2011.3.24)

【年通号数】公開・登録公報2011-012

【出願番号】特願2010-538283(P2010-538283)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

A 0 1 H 5/00 (2006.01)

A 2 3 L 1/10 (2006.01)

C 1 2 N 9/10 (2006.01)

C 0 7 K 16/40 (2006.01)

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

C 1 2 P 19/04 (2006.01)

C 1 2 P 21/08 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

C 1 2 N 5/00 1 0 3

A 0 1 H 5/00 A

A 2 3 L 1/10 Z

C 1 2 N 9/10

C 0 7 K 16/40

A 6 1 K 39/395 P

C 1 2 P 19/04 Z

C 1 2 P 21/08

【手続補正書】

【提出日】平成23年12月15日 (2011.12.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

細胞により生成される (1 , 3 ; 1 , 4) - - D - グルカンのレベルを調節する方法であって、該細胞中の C s 1 H によりコードされる (1 , 3 ; 1 , 4) - - D - グルカシンターゼのレベルおよび / または活性を調節するステップを含む方法。

【請求項 2】

(1 , 3 ; 1 , 4) - - D - グルカシンターゼのレベルおよび / または活性が、細胞中の C s 1 H 核酸の発現を調節することにより調節される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

(1 , 3 ; 1 , 4) - - D - グルカンの生成方法であって、単離された C s 1 H 核酸で細胞を形質転換するステップ、および該細胞に該単離された C s 1 H 核酸を発現させるステップを含む方法。

【請求項 4】

前記細胞が植物細胞である、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 5】

前記細胞が穀類植物細胞である、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 6】

以下：

同じ分類群の野生型細胞と比較してそのレベルおよび / または活性が調節された、C s l H によりコードされる (1 , 3 ; 1 , 4) - - D - グルカンシンターゼ ; ならびに / あるいは

同じ分類群の野生型細胞と比較してその発現が調節された C s l H 核酸のいずれか 1 以上を含む細胞。

【請求項 7】

同じ分類群の野生型細胞と比較してそのレベルが調節された (1 , 3 ; 1 , 4) - - D - グルカンをさらに含む、請求項 6 に記載の細胞。

【請求項 8】

請求項 1 または 2 に記載の方法により作製された、請求項 6 または 7 に記載の細胞。

【請求項 9】

植物細胞である、請求項 6 ~ 8 のいずれか 1 項に記載の細胞。

【請求項 10】

穀類植物細胞である、請求項 9 に記載の細胞。

【請求項 11】

請求項 6 ~ 10 のいずれか 1 項に記載の 1 以上の細胞を含む多細胞構造物。

【請求項 12】

植物全体、植物組織、植物器官、植物部分、植物繁殖材料、または培養植物組織からなるリストより選択される、請求項 11 に記載の多細胞構造物。

【請求項 13】

穀類植物、またはその組織、器官もしくは部分を含む、請求項 11 または 12 に記載の多細胞構造物。

【請求項 14】

穀粒を含む、請求項 13 に記載の多細胞構造物。

【請求項 15】

同じ分類群の野生型細胞と比較して食物繊維含有量が調節された細胞を含む、請求項 12 ~ 14 のいずれか 1 項に記載の多細胞構造物。

【請求項 16】

同じ分類群の野生型細胞と比較して (1 , 3 ; 1 , 4) - - D - グルカンレベルが増加し、かつ同じ分類群の野生型細胞と比較して食物繊維含有量が増加した細胞を含む、請求項 15 に記載の多細胞構造物。